様式７

アドバンス：「学校」部門

河川基金助成事業

「 地域の特性を活かした河川学習の構想 」 報告書

助成番号：2018 - 7212 - 005

高知県 佐川町立黒岩小学校

校 長 坂 本 隆 志

平成 30 年度

様式　8

〔学校部門〕　　［概要版報告書］

助成番号	助成事業名		学校名
2018-7212-005	地域の特性を活かした河川学習の構想		高知県佐川町立黒岩小学校
校長名	坂本　隆志	担当教諭名	安井正仁
過去の助成実績	なし　　あり〔助成番号：2018-7212-005 助成事業名：学校部門アドバンス〕		
キーワード	「米作り」「水質調査」「生き物と環境」「防災教育」「川と歴史」		
対象児童生徒	高校生（　年　　名）　中学生（　年　　名）　小学生（４・５・６年　２１名）		
対象河川名	柳瀬川	活動場所の指定状況	なし　子どもの水辺　水辺の楽校

年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ

テーマ　：　わたしたちのくらしの中の柳瀬川

ねらい　：　黒岩地域を流れる柳瀬川が自分たちのくらしにどのように関わっているかということを多様な方法で考え柳瀬川を知ることで、黒岩地域の豊かな自然を守っていこうとする心情を育てたい。

評価の観点：　○課題を見つける力○問題を解決する力○自ら行動する力○情報を活用する力
○豊かに表現する力○自己評価する力

活動時期　：　平成３０年４月～平成３１年３月

活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習（　　）	各教科学習（　　）	学校行事	その他（　　）	合計
上記の活動時間数	１９３時間	時間	時間	６時間	時間	時間

支援者等（複数記入可）

保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援概要	・河川改修工事の設計を行った西日本科学技術研究所の方を講師に指標生物による柳瀬川支流寺野川の水質検査を行った。（○西日本科学技術研究所３名） ・黒岩地区の管理者である越知土木事務所や各地域自治会長の方々をゲストティーチャーに危険個所点検を行った。（○越知土木事務所５名　○各地区自治会長）					

活動成果	発表形態			成果作品
	学級単位	学年単位	学校全体	
	対外発表（　　なし　　）			

安全対策に関する課題

・引率者の人数を確保が課題である。
・天候の急変の場合の退避場所が確保できない場合があることが課題である。
・気温や湿度が高い場合の熱中症対策が課題である。

活動の成果と今後の課題・展開

○黒岩地域と柳瀬川とのつながりを知るため、柳瀬川に関する子どもたちの疑問をアンケートとしてまとめ、地域の方や保護者の皆さんに協力いただきアンケートを実施した。そのアンケートを集計しまとめると、地域と河川の関係が明らかになり、課題設定に大いに役に立った。また、各単元を構成し展開する中で各種専門機関からゲストティーチャーをお迎えすることで、課題設定や活動の見通し、活動のまとめや振り返りを効果的に行うことができた。専門機関との連携の重要性を改めて認識した。計画していた活動の中で、実施できないものがあったので、実施できるよう、計画していきたい。今後は各学年単位ではなく、長い期間全校、地域が一対となり取り組める地域の特色を生かした単元を開発したいと思う。

活動内容と実施時期（主な活動を２つのみ記入）

	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	生物調査系	生き物と環境	４月～１月
			水質調査系	生物指標	６　月

※データベースに登録する活動分野は、助成事業実施の手引き P.47 の一覧表から代表的なものを２つ記入して下さい。

様　式　12-1

アドバンス　活動報告書（１）－①

（NO.　1）

1.助成事業名	地域の特性を活かした河川学習の構想	学校名	佐川町立黒岩小学校	助成番号	2018-7212-005
2.単元名	わたしたちのくらしの中の柳瀬川（①柳瀬川と生き物　春→夏→秋→冬　②柳瀬川と防災）				
3.目標	①柳瀬川や柳瀬川周辺に住む動植物をいろいろな方法で調べ、動植物と柳瀬川の相互関係を調べ、黒岩の豊かな自然に気付かせる。また、柳瀬川や黒岩の自然と関わりをもち暮らしている人々の生き方を学ぶ。。③地震、津波、水害、土砂災害等の発生のメカニズムや特徴を理解する。④災害の状況に応じて避難場所を判断し身を守る適切な行動がとれる。⑤地域の防災活動を理解し自分たちにできることを考え行動化しようとする。				
4.実施学年　人数	第４学年６名				
5.場所	・黒岩小学校　　・柳瀬川周辺　　・奥浦川（柳瀬川支流）　　・黒岩地域（各地域の危険個所）				

6.単元構想（総時間数）

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2

４学年

黒岩地区のくらしと柳瀬川の関わりを調べよう（4時間）

柳瀬川と黒岩地域の人々の暮らしとのつながりを知り、調べる課題を決定できる。

①　柳瀬川と生き物（春→夏→秋→冬）（23時間）

①柳瀬川の周り生息する生き物を季節を追って調べる、柳瀬川流域が豊かな自然に恵まれていることを知る。②動植物にとって柳瀬川は、どのような役割を果たしているかを知る。③柳瀬川や黒岩に自然と関わりをもって暮らしている人たちの努力や工夫を知り、その生き方を学ぶ。④調べたことをわかりやすくまとめたり、発表したりすることができる。

②柳瀬川と防災（7時間）

○過去の水害を知り危険個所点検を行い防災マップにまとめることができる。

くらしの中の柳瀬川（3時間）

①1 年間の活動をまとめることができる。
②1年間の活動を振り返り、新たな課題や継続して取り組む内容を見つけることができる。

主な学習活動

○柳瀬川と地域の関わりに関するアンケートの実施。
○アンケートをもとに、年間の活動課題の決定。

【①　柳瀬川と生き物　春→夏→秋→冬　　23時間　】
【課題設定④】
○調べる生き物を決める。
○調べる内容を決める。
【調査活動　⑯】
○設定した課題を調べる。（ゲストティーチャー、フィールドワーク、図書、インターネット）
【まとめ・振り返り　③】
○調べたことをまとめ、自分たちや地域の生活にどのように活かせるかを考え発信する。1年間の活動を振り返り、来年度の課題を探る。

【②　柳瀬川と防災　　7時間　】
【課題設定　①】
○調べる過去の災害を決める。
【調査活動　⑤】
○過去に黒岩地域に起こった自然災害（水害・土砂崩れ等）を調べる。〈フィールドワーク、ゲストティーチャー、図書、インターネットを活用しての調査活動〉
○校区内（黒岩地域）危険個所点検をし災害避難所めぐる。〈フィールドワーク、ゲストティーチャーを活用しての調査活動〉
【まとめ・振り返り　①】
○防災マップをつくる。（危険個所・災害避難場所等を記載）

【①柳瀬川と生き物】
○1 年間の活動を振り返りまとめる。
【②柳瀬川と防災】
○1 年間の活動を振り返りまとめる。
◎柳瀬川の学習を通して学んだことや新たな気付き、これからやってみたいこと等アンケートを実施し集計し、来年度の研究課題の方向性を探る。
【来年度の課題設定】

評価項目

○柳瀬川アンケートをまとめ、教科の学習や今までの生活体験や既習をふまえて年間を通じて調べる課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。
（豊かに表現する力）

【①柳瀬川と生き物（春夏秋冬）②柳瀬川と防災　共通評価項目】
○柳瀬川周辺の生き物調査や危険個所点検（フィールドワーク）等を通して、教科の学習や体験をふまえて、自分なりの課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○目的に合った方法を自ら考え、見通しをもつための計画を考えることができる。**（問題を解決する力）**
○目的に向かい、見通しをもって進み、課題を解決することができる。**（問題解決する力）**
○目的に向かい、みんなと協力し、自分から進んで活動の準備をしたり行動をしたりすることができる。**（自ら行動する力）**
○目的にそって、進んで取材活動や調べ活動をし、得た情報をメモや写真に残し活用することができる**（情報を活用する力）**
○目的に向かうために得た情報を多様な方法でわかりやすくまとめることができる。（情報を活用する力）
○柳瀬川周辺の生き物を調べてまとめた生き物マップや危険個所点検で得た情報を基に作成した防災マップをもとに、その生かし方を考えるまとめることができる。
（問題解決する力）
○目的に向かい、調べたり体験したりしてわかったことを多様な方法で発表（発信）することができる。**（豊かに表現する力）**
○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。**（自己評価する力）**

【①柳瀬川と生き物②柳瀬川と防災　共通評価項目】
○1 年間の活動を振り返りまとめることができる。
（豊かに表現する力）
○1 年間の活動をもとに新たな課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○これまでの自分の活動を見つめ返し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。
（自己評価する力）

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

様　式　12-2

アドバンス　活動報告書（１）－②

（NO.　2）

1.助成事業名	地域の特性を活かした河川学習の構想	学校名	佐川町立黒岩小学校	助成番号	2018-7212-　005

7.実際に行った単元構成　**注）活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。**

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2

４学年

黒岩地区のくらしと柳瀬川の関わりを調べよう（4時間）

①柳瀬川と生き物（春→夏→秋→冬）（30時間）

くらしの中の柳瀬川(3 時間)

柳瀬川と黒岩地域の人々の暮らしとのつながりを知り、調べる課題を決定できる。

①柳瀬川の周り生息する生き物を季節を追って調べる、柳瀬川流域が豊かな自然に恵まれていることを知る。②動植物にとって柳瀬川は、どのような役割を果たしているかを知る。③柳瀬川や黒岩に自然と関わりをもって暮らしている人たちの努力や工夫を知り、その生き方を学ぶ。④調べたことをわかりやすくまとめたり、発表したりすることができる。

②柳瀬川と防災（24時間）

①過去の柳瀬川や黒岩地域に関連する、自然災害（水害）を知り、柳瀬川や黒岩地区の特徴を知り今後の災害に備える。②黒岩地域をゲストティーチャーとともにフィールドワークし校区内の危険個所や災害避難所を認識する。③地震、津波、水害、土砂災害の発生のメカニズムや特徴を理解する。④災害の状況に応じて避難場所を判断し身を守る適切な行動がとれる。⑤地域の防災活動を理解し自分たちにできることを考え行動化しようとする。

①1 年間の活動をまとめることができる。
②1年間の活動を振り返り、新たな課題や継続して取り組む内容を見つけることができる。

○柳瀬川と地域の関わりに関するアンケートの実施。
○アンケートをもとに、年間の活動課題の決定。
【活動課題】
①柳瀬川と生き物
（春→夏→秋→冬）
②柳瀬川と防災

【　①柳瀬川と生き物　春→夏→秋→冬　30時間　】
【課題設定　④】【調査活動　⑳】
○調べる生き物・内容を決定し、年間を通し調査を行った。その際採集した植物、昆虫（トンボ・チョウ）は標本として残した。
・調べる生き物 ――― 野鳥　・魚　・昆虫　・動物　・植物
・調べる内容 ――― 柳瀬川に住んでいる野鳥　・野鳥の鳴き声　・柳瀬川でとれる魚の種類（釣り体験）・柳瀬川周辺で採集できる昆虫（昆虫採集）・柳瀬川周辺に見られる植物（植物採集）
【まとめ　③】
○調べた得た情報を柳瀬川周辺の生き物マップとしてまとめた。また、調べたことを模造紙やコンピューターでまとめ、学習発表会で発表した。自分たちや地域の生活にどのように活かせるかせるかを考え、できた生き物マップを地域の活動交流センターに掲示し地域の皆さんに見てもらうことができた。
【振り返り　③】
１年間の活動を振り返り、来年度の課題を探る。【来年度の課題・・・・ホタル】

【②柳瀬川と防災　24時間　】
【課題設定　④】【調査活動　⑰】
○過去に黒岩地域に起こった自然災害（水害・土砂崩れ等）を調べる災害を決めた。〈フィールドワーク、ゲストティーチャー、図書、インターネット等を活用しての調査活動〉
○校区内（黒岩地域）の危険個所点検と災害避難所めぐりを行った。〈フィールドワーク、ゲストティーチャーを活用しての調査活動〉
○防災学習の授業を行った。（6回）
○年間11回の避難訓練を行った。
【まとめ　②】
○調べて得た危険個所や災害避難場所、避難経路、災害の特徴、前兆を防災マップや防災新聞にまとめた。自分たちや地域の生活にどのように活かせるかせるかを考え、できた防災マップを地域の活動交流センターに掲示し地域の皆さんに見てもらうことができた。
【振り返り　①】
○１年間の活動を振り返り、来年度の課題を探る。【来年度の課題・・・防災キャンプ】

【①柳瀬川と生き物】
○1 年間の活動を振り返りまとめる。
【②柳瀬川と防災】
○1 年間の活動を振り返りまとめる。
◎柳瀬川の学習を通して学んだことや新たな気付き、これからやってみたいこと等アンケートを実施し集計し、来年度の研究課題の方向性を探る。
【来年度の課題設定】

○柳瀬川アンケートをまとめ、教科の学習や今までの生活体験や既習をふまえて年間を通じて調べる課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。
（豊かに表現する力）

【①柳瀬川と生き物（春夏秋冬）②柳瀬川と防災　共通評価項目】
○柳瀬川周辺の生き物調査や危険個所点検（フィールドワーク）等を通して、教科の学習や体験をふまえて、自分なりの課題を設定することができる。**（課題を見つける力）**
○目的に合った方法を自ら考え、見通しをもつための計画を考えることができる。**（問題を解決する力）**
○目的に向かい、見通しをもって進み、課題を解決することができる。**（問題解決する力）**
○目的に向かい、みんなと協力し、自分から進んで活動の準備をしたり行動をしたりすることができる。**（自ら行動する力）**
○目的にそって、進んで取材活動や調べ活動をし、得た情報をメモや写真に残し活用することができる**（情報を活用する力）**
○目的に向かうために得た情報を多様な方法でわかりやすくまとめることができる。**（情報を活用する力）**
○柳瀬川周辺の生き物を調べてまとめた生き物マップや危険個所点検で得た情報を基に作成した防災マップをもとに、その生かし方を考えるまとめることができる。**（問題解決する力）**
○目的に向かい、調べたり体験したりしてわかったことを多様な方法で発表（発信）することができる。**（豊かに表現する力）**
○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。**（自己評価する力）**

【①柳瀬川と生き物②柳瀬川と防災　共通評価項目】
○1 年間の活動を振り返りまとめることができる。
（豊かに表現する力）
○1 年間の活動をもとに新たな課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○これまでの自分の活動を見つめ返し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。
（自己評価する力）

8.成果と課題

○柳瀬川周辺に生息する、生き物を年間通じて観察することにより、柳瀬川周辺には町では見られない動植物が数多く生息していることが分かった。動植物にとって柳瀬川周辺は住みやすい環境が数多く残っていることが分かった。
○身近で起こりうる災害に目を向け、防災の意識を高めることができた。
○学習活動の中でまとめた、生き物マップや防災マップを地域の活動交流センターに掲示していただき、地域の皆さんに見ていただけよかったと思う。しかし、「調べたことを生活や地域にどのように返していけるのか。」ということを話し合うことが不十分であった。黒岩地域や佐川町全体に発信していく方策を考えることをひとつの課題とし、考えていきたい。また、計画していたホタル学習ができなかったので、来年度取り組みたいと思う

様　式　12-1

アドバンス　活動報告書（２）－①

（NO.　1）

1.助成事業名	地域の特性を活かしたか河川学習の構想	学校名	佐川町立黒岩小学校	助成番号	2018-7212-005
2.単元名	わたしたちのくらしの中の柳瀬川（①柳瀬川と米作り　②柳瀬川と防災）				
3.目標	①日本の主食である米について、米作りを体験したり用水路を調べたりしてまとめ、柳瀬川と米作りの関係を知る。②黒岩地域の過去の自然災害と柳瀬川の関連性を探り、災害や防災に関する様々な知識を身につけさせ、災害発生時に危険回避できる判断力、行動力を育てる。				
4.実施学年　人数	第５学年　３名				
5.場所	・黒岩小学校　・柳瀬川周辺　・学校水田「黒岩ランド」　・黒岩地域（各地域の危険個所）				

6.単元構想（総時間数）

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2

５学年

黒岩地区のくらしと柳瀬川の関わりを調べよう(4 時間)

柳瀬川と黒岩地域の人々の暮らしとのつながりを知り、調べる課題を決定できる。

①柳瀬川と米作り(34 時間)

①米作りの体験活動を通して、自分たちの住んでいる黒岩地域の米作りを知ることで、自分と米の関わりを考え、自分たちの住んでいる地域のすばらしさを学ばせる。②体験活動の中で出会った人たちの努力や工夫を知り、その生き方を学ぶ。③日本の農業や食料の問題に関心をもつことができる。④・パソコンや図書、資料などを有効に使い調べたことを図表や写真、文章でわかりやすくまとめ、発表することができる。

②柳瀬川と防災

①過去の柳瀬川や黒岩地域に関連する、自然災害(水害)を知り、柳瀬川や黒岩地区の特徴を知り今後の災害に備える。②黒岩地域をゲストティーチャーとともにフィールドワークし校区内の危険個所や災害避難所を認識する。③地震、津波、水害、土砂災害等の発生のメカニズムや特徴を理解する。④災害の状況に応じて避難場所を判断し身を守る適切な行動がとれる。⑤地域の防災活動を理解し自分たちにできることを考え行動化しようとする。

くらしの中の柳瀬川(3 時間)

①1 年間の活動をまとめることができる。
②1年間の活動を振り返り、新たな課題や継続して取り組む内容を見つけることができる。

主な学習活動

○柳瀬川と地域の関わりに関するアンケートの実施。
○アンケートをもとに、年間の活動課題の決定。

【①柳瀬川と米作り　34時間】
【課題設定　④】
○米作り体験を通して追及することを決める。
○米作り体験を通して追及する内容を決める。
【調査活動　27 時間】
○設定した課題を調べる。（ゲストティーチャー、フィールドワーク、図書、インターネット等を活用しての調査活動⑳）
○収穫した米を使っての学校行事〈収穫祭⑤〉〈お弁当づくり②〉
【まとめ・振り返り　③】
○調べたことをまとめ、自分たちや地域の生活に活かせるかを考え発信する。1年間の活動を振り返り、来年度の課題を探る。

【②　柳瀬川と防災　　7時間】
【課題設定　①】
○調べる過去の災害を決める。
【調査活動　⑤】
○過去に黒岩地域に起こった自然災害（水害・土砂崩れ等）を調べる。〈フィールドワーク、ゲストティーチャー、図書、インターネットを活用しての調査活動〉
○校区内（黒岩地域）危険個所点検をし災害避難所めぐる。〈フィールドワーク、ゲストティーチャーを活用しての調査活動〉
【まとめ・振り返り　①】
○調べたことをまとめ、自分たちや地域の生活に活かせるかを考え発信する。1年間の活動を振り返り、来年度の課題を探る。

【①柳瀬川と米作り】
○1 年間の活動を振り返りまとめる。
【②柳瀬川と防災】
○1 年間の活動を振り返りまとめる。
◎柳瀬川の学習を通して学んだことや新たな気付き、これからやってみたいこと等アンケートを実施し集計し、来年度の研究課題の方向性を探る。
【来年度の課題設定】

評価項目

○柳瀬川アンケートをまとめ、教科の学習や今までの生活体験や既習をふまえて年間を通じて調べる課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。
（豊かに表現する力）

【①柳瀬川と米作り・②柳瀬川と防災　共通評価項目】
○米作り体験や用水路調査、危険個所点検（フィールドワーク）等を通して、教科の学習や体験をふまえて、自分なりの課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○目的に合った方法を自ら考え、見通しをもつための計画を考えることができる。**（問題を解決する力）**
○目的に向かい、見通しをもって進み、課題を解決することができる。**（問題解決する力）**
○目的に向い、みんなと協力し、自分から進んで活動の準備をしたり行動をしたりすることができる。**（自ら行動する力）**
○目的にそって、進んで取材活動や調べ活動をし、得た情報をメモや写真に残し活用することができる**（情報を活用する力）**
○目的に向かうために得た情報を多様な方法でわかりやすくまとめることができる。**（情報を活用する力）**
○米作りから得た様々な体験、知識や危険個所点検で得た情報を基に作成した防災マップをもとに、その生かし方を考えるまとめることができる。**（問題解決する力）**
○目的に向かい、調べたり体験したりしてわかったことを多様な方法で発表（発信）することができる。**（豊かに表現する力）**
○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。**（自己評価する力）**

【①柳瀬川と米づくり②柳瀬川と防災　共通評価項目】
○1 年間の活動を振り返りまとめることができる。
（豊かに表現する力）
○1 年間の活動をもとに新たな課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○これまでの自分の活動を見つめ返し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。
（自己評価する力）

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

様　式　12-2

アドバンス　活動報告書（２）－②

（NO.　2）

1.助成事業名	地域の特性を活かした河川学習の構想	学校名	佐川町立黒岩小学校	助成番号	2018-7212-005

7.実際に行った単元構成　**注）活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。**

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2

５学年

黒岩地区のくらしと柳瀬川の関わりを調べよう

①柳瀬川と米作り

くらしの中の柳瀬川

柳瀬川と黒岩地域の人々の暮らしとのつながりを知り、調べる課題を決定できる。

①米作りの体験活動を通して、自分たちの住んでいる黒岩地域の米作りを知ることで、自分と米の関わりを考え、自分たちの住んでいる地域のすばらしさを学ばせる。②体験活動の中で出会った人たちの努力や工夫を知り、その生き方を学ぶ。③日本の農業や食料の問題に関心をもつことができる。④・パソコンや図書、資料などを有効に使い、調べたことを図表や写真、文章でわかりやすくまとめ、発表することができる。

②柳瀬川と防災

①過去の柳瀬川や黒岩地域に関連する、自然災害（水害）を知り、柳瀬川や黒岩地区の特徴を知り今後の災害に備える。②黒岩地域をゲストティーチャーとともにフィールドワークし校区内の危険個所や災害避難所を認識する。③地震、津波、水害、土砂災害等の発生のメカニズムや特徴を理解する。④災害の状況に応じて避難場所を判断し身を守る適切な行動がとれる。⑤地域の防災活動を理解し自分たちにできることを考え行動化しようとする。

①1 年間の活動をまとめることができる。
②1年間の活動を振り返り、新たな課題や継続して取り組む内容を見つけることができる。

【　4時間　】
○柳瀬川と地域の関わりに関するアンケートの実施。
○アンケートをもとに、年間の活動課題の決定。
【活動課題】
①柳瀬川と米作り
②柳瀬川と防災

○柳瀬川アンケートをまとめ、教科の学習や今までの生活体験や既習をふまえて年間を通じて調べる課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。
（豊かに表現する力）

【①柳瀬川と米作り　34時間】
【課題設定　④】【調査活動㊴】
○籾まき・田植え・稲刈り・脱穀籾すり・精米の今と昔（昔の道具体験）を体験した。〈勤労生産に関わる体験活動〉
○黒岩ランド（学校水田）の用水路調査から黒岩地域の水田の用水路を調べ柳瀬川本流と支流から取水している田の比較を行うことができた。
る。〈地域をフィールドワークしての調査活動〉
【まとめ　③】
○収穫した米を使って家庭科での調理実習や収穫祭での手巻き寿司、餅つきや餅づくりに活かすことができた。
○米作りで体験したこと学習したことをコンピューターでまとめ、児童集会でまとめたことを発表集会で発表した。
○米作り体験のまとめとして収穫した米を使い日頃お世話になっている地域の方、保護者の方に来ていただき収穫祭を行ったたくさんの方に来たいただきことができた。
【振り返り　③】
１年間の活動を振り返り、来年度の課題を探る。【来年度の課題･･･ホタル】

【②柳瀬川と防災　25時間】
【課題設定　④】【調査活動　⑱】
○過去に黒岩地域に起こった自然災害（水害・土砂崩れ等）を調べる災害を決めた。〈フィールドワーク、ゲストティーチャー、図書、インターネット等を活用しての調査活動〉
○校区内（黒岩地域）の危険個所点検と災害避難所めぐりを行った。〈フィールドワーク、ゲストティーチャーを活用しての調査活動〉
○防災学習の授業を年間7回行った。
○年間11回の避難訓練を行った。
【まとめ　②】
○調べて得た危険個所や災害避難場所、避難経路、災害の特徴、前兆を防災マップや防災新聞にまとめた。自分たちや地域の生活にどのように活かせるかせるかを考え、できた防災マップを地域の活動交流センターに掲示し地域の皆さんに見てもらうことができた。
【振り返り　①】
○１年間の活動を振り返り、来年度の課題を探る。【来年度の課題・・・防災キャンプ】

【①柳瀬川と米作り】
○1 年間の活動を振り返りまとめる。
【②柳瀬川と防災】
○1 年間の活動を振り返りまとめる。
◎柳瀬川の学習を通して学んだことや新たな気付き、これからやってみたいこと等アンケートを実施し集計し、来年度の研究課題の方向性を探る。
【来年度の課題設定】

【①柳瀬川と米作り･②柳瀬川と防災　共通評価項目】
○米作り体験や用水路調査、危険個所点検（フィールドワーク）等を通して、教科の学習や体験をふまえて、自分なりの課題を設定することができる。**（課題を見つける力）**
○目的に合った方法を自ら考え、見通しをもつための計画を考えることができる。**（問題を解決する力）**
○目的に向かい、見通しをもって進み、課題を解決することができる。**（問題解決する力）**
○目的に向い、みんなと協力し、自分から進んで活動の準備をしたり行動をしたりすることができる。**（自ら行動する力）**
○目的にそって、進んで取材活動や調べ活動をし、得た情報をメモや写真に残し活用することができる**（情報を活用する力）**
○目的に向かうために得た情報を多様な方法でわかりやすくまとめることができる。**（情報を活用する力）**
○米作りから得た様々な体験、知識や危険個所点検で得た情報を基に作成した防災マップをもとに、その生かし方を考えるまとめることができる。**（問題解決する力）**
○目的に向かい、調べたり体験したりしてわかったことを多様な方法で発表（発信）することができる。**（豊かに表現する力）**
○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。**（自己評価する力）**

【①柳瀬川と米づくり②柳瀬川と防災　共通評価項目】
○1 年間の活動を振り返りまとめることができる。
（豊かに表現する力）
○1 年間の活動をもとに新たな課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○これまでの自分の活動を見つめ返し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。
（自己評価する力）

8.成果と課題

○柳瀬川周辺の水田に注ぎ込む用水路調べをすることにより、水田と柳瀬川の関係性を知ることができた。

○身近で起こりうる災害に目を向け、防災の意識を高めることができた。

○学習活動の中でまとめた、米作り月表を地域の活動交流センターに掲示していただき、地域の皆さんに見ていただけよかったと思う。Ｉ年間の米作りの活動を全校集会で発表することができた。しかし学校だけでの法被 xy 峰であったので、今後は、黒岩地域や佐川町全体に発信していく方策を考えることをひとつの課題とし、考えていきたい。また、計画していたホタル学習ができなかったので、来年度取り組みたいと思う

様　式　12-1

アドバンス　活動報告書（３）－①

（NO.　1）

1.助成事業名	学校部門（アドバンス）	学校名	佐川町立黒岩小学校	助成番号	2018-7212 -005
2.単元名	わたしたちのくらしの中の柳瀬川（①　②）				
3.目標					
4.実施学年　人数	第６学年　１１名				
5.場所	・黒岩小学校　・柳瀬川周辺　・学校水田「黒岩ランド」　・黒岩地域（各地域の危険個所）				

6.単元構想（総時間数）

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2
６学年	黒岩地区のくらしと柳瀬川の関わりを調べよう	①柳瀬川の水質をしよう			自由研究・体験活動	②柳瀬川と黒岩の歴史を調べよう				くらしの中の柳瀬川	
	地域の皆さんや保護者に「柳瀬川と地域住民の生活、関わりについて」のアンケートに協力していただき、柳瀬川と黒岩地域の人々の暮らしとのつながりを知りそれを集計することにより、柳瀬川と人々の関わりへ視点が向くようにし調べる課題を決定するようにする。	柳瀬川の水質について、川の中に住む生き物（指標生物）を調べ水質調査を行う。あわせて、パックテストを用いての化学的な水質調査も行い、比較して柳瀬川の水質について調べる。柳瀬川本流だけではなく、学校水田「黒岩ランド」の用水路に注ぎ込む支流など、支流何か所も調べ比較し、水質の状態について調べる。水がきれいな場合は、保全していくようにまた、汚れている場合は、水の汚れを改善するためにはどうしたらよいのかを自ら考えるようにする。			夏休みの期間を使って柳瀬川を題材とした自由研究を行うようにする。 また、川に関する体験活動も計画し参加させるようにする。	黒岩地域には、「黒岩」の地域名の由来となった、黒い巨岩が田の真ん中に鎮座している。この岩は、「安政の大地震時、山を転げ落ちてきた。」という説や「高知市の土佐神社から放り投げられたものである。」など逸話のある岩である。また、黒岩小学校の裏山には、城跡が残っている。戦国時代に長曾我部氏がこの地を統治している。田は、検地が行われ、その検地帳は現存している。その頃には、現在の佐川町よりも発展していたといわれる地域である。また、町が発展するには、物流が必要となるが、その物流が柳瀬川を使って行われていたのではないかと思われる海運の痕跡も残されている。これら、黒岩地域に残る、さまざまな史跡を調べることにより、地域の歴史的価値に触れ、黒岩地域の神秘的なすばらしさを感じさせたい。			くらしの中の柳瀬川 ①1 年間の活動をまとめることができる。 ②1年間の活動を振り返り、新たな課題や継続して取り組む内容を見つけることができる。	
主な学習活動	【年間の課題を設定する】④ ○柳瀬川と地域の関わりに関するアンケートを実施集計し、柳瀬川と地域の人々の昔からの暮らつながりを知る。 ○アンケートの集計結果から生活経験や既習事項、教科の内容を考慮して課題を設定する。 【活動課題】 ①柳瀬川と環境調査 ②柳瀬川と黒岩の歴史 ③柳瀬川と防災	【課題設定】 ○数十年前の柳瀬川は、水の流れがなく、①泳ぐことのできない川であった。というアンケートの声があった。柳瀬川の汚れについて話し合う。 ○自らの課題を設定し解決のための計画を立て学習の見通しをもつ。 ＊調査場所については決めておく。	【調査活動】 ○指標生物による水質検査をしり、調査場所について指標生物を採集し結果を記録する。 ○パックテストによる水質検査を知り、水質調査を数値化し結果を記録する。 ○それぞれの水質調査を数値化し調査場所の比較を行う。	【まとめる】 ○表やグラフを用いながら、水質調査を行った結果をまとめる。 ○結果をもとに考察し柳瀬川の水質マップを作る。 ○水質調査の結果をどのように自分たちの生活に返すか話し合う。 ○柳瀬川の水質を守る方策を実行する。	【自由研究】 ○柳瀬川に関する自由研究の題材を決め、 研究計画を立て研究を進めまとめる。 【体験活動】 ○柳瀬川川下りの計画を立て川下りを行う。	【課題設定】 ○黒岩地域に残る史跡についてゲストティーチャーからお話を聞く。 ○興味関心をもった史跡について話し合う。 ○自ら課題を設定し解決のための計画を立て学習の見通しをもつ。 ＊課題が重複した場合はグループになってもよい。	【調査活動】 ○設定した課題についてゲストティーチャーにアドバイスをもらう。 ○フィールドワークの計画を立てる。 ○フィールドワークに出かけ調べる。 ○図書や資料、インターネットで調べる。 ○調べて得た情報を記録する。	【まとめる】 ○調べて得た情報や写真を項目立てして整理して模造紙にまとめる。 ○まとめたものを元に、パソコンでも資料を作成し学習発表会に備える。 ○まとめたものを元に「黒岩歴史新聞」として地域に情報発信する。	①　柳瀬川と防災 ○過去の水害を知り危険個所点検を行い防災マップにまとめるさせる。 【課題設定】 ○黒岩地域に過去に起こった自然災害について写真を見たりゲストティチャーのお話を聞いたりする。 ○黒岩地域の中でどんな場所で自然災害が起こっているかについて話し合う。 ○自らの課題を設定し解決のための計画を立て学習の見通しをもつ。 ＊通学班のグループで課題を設定する。	【調査活動】 ○通学班のグループに分かれ各地域の危険個所の点検する。 ＊ゲストティーチャーとともにフィールドワークする。 ○各グループで立てた課題を中心に危険個所を探し地区マップに記録する。 ○各地域の避難場所や自宅からの避難経路を確認記録する。 ＊記録は写真や文、絵でする。	【まとめる】 ○調べて得た情報や写真を防災マップにまとめ課題解決の方策について話し合う。 ＊ゲストティーチャーの助言をもらう。 ○各地区でまとめた防災マップを見せながら課題解決に向けての各グループの意見を発表する。 ＊ゲストティーチャーから講評をもらう。 ○学校へ掲示後、黒岩地区活動交流センターに掲示し、地域の方に見てもらう。	【1 年間の活動を振り返りまとめる。】 ○柳瀬川の学習を通して学んだことや新たな気付き、これからやってみたいこと等アンケートを実施し集計し、来年度の研究課題の方向性を探る。 【来年度の課題設定】
評価項目	○柳瀬川アンケートをまとめ、教科の学習や今までの生活体験や既習をふまえて年間を通じて調べる課題を設定することができる。 **（課題を見つける力）** ○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。 **（豊かに表現する力）**	○教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。 **（課題を見つける力）** ○課題解決についての計画を考え、活動の見通しをもつことができる。 **（問題解決する力）** ○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。 **（豊かに表現する力）**	○目的に合った方法を自ら考えみんなと協力し進んで活動の準備をしたり活動したりすることができる。 **（自ら行動する力）** ○目的に向かって見通しをもち進み解決することができる。 **（問題解決する力）** ○目的にそって進んで取材活動や調べ活動をすることができる。 **（情報を活用する力）**	○調べたり体験したりしてわかったことを分かりやすくまとめることができる。 **（豊かに表現する力）** ○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、振り返りをすることができる。 **（自己評価する力）**	○教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。 **（課題を見つける力）** ○課題解決についての計画を考え、活動の見通しをもつことができる。 **（問題解決する力）** ○調べたり体験したりしてわかったことを分かりやすくまとめることができる。 **（豊かに表現する力）**	○教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。 **（課題を見つける力）** ○課題解決についての計画を考え、活動の見通しをもつことができる。 **（問題解決する力）** ○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。 **（豊かに表現する力）**	○目的に合った方法を自ら考えみんなと協力し進んで活動の準備をしたり活動したりすることができる。 **（自ら行動する力）** ○目的に向かって見通しをもち進み解決することができる。 **（問題解決する力）** ○目的にそって進んで取材活動や調べ活動をすることができる。 **（情報を活用する力）**	○調べたり体験したりしてわかったことを分かりやすくまとめることができる。 **（豊かに表現する力）** ○まとめたことを工夫し、いろいろな方法で発信することだできる。 **（豊かに表現する力）** ○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、振り返りをすることができる。 **（自己評価する力）**	○教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。 **（課題を見つける力）** ○課題解決についての計画を考え、活動の見通しをもつことができる。 **（問題解決する力）** ○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。 **（豊かに表現する力）**	○目的に合った方法を自ら考えみんなと協力し進んで活動の準備をしたり活動したりすることができる。 **（自ら行動する力）** ○目的に向かって見通しをもち進み解決することができる。 **（問題解決する力）** ○目的にそって進んで取材活動や調べ活動をすることができる。 **（情報を活用する力）**	○調べたり体験したりしてわかったことを分かりやすくまとめることができる。 **（豊かに表現する力）** ○まとめたことを工夫し、いろいろな方法で発信することができる。 **（豊かに表現する力）** ○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、振り返りをすることができる。 **（自己評価する力）**	○1 年間の活動を振り返りまとめることができる。 **（豊かに表現する力）** ○1 年間の活動をもとに新たな課題を設定することができる。 **（課題を見つける力）** ○これまでの自分の活動を見つめ返し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。 **（自己評価する力）**

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

様　式　12-2

アドバンス　活動報告書（３）－②

（NO.　2）

1.助成事業名		学校名		助成番号	2018-7212- 005

7.実際に行った単元構成　**注）活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。**

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
6学年	黒岩地区のくらしと柳瀬川の関わりを調べよう(4 時間)	①柳瀬川の水質をしよう(25 時間)			自由研究・体験活動	②柳瀬川と黒岩の歴史を調べよう(34 時間)				くらしの中の柳瀬川(3 時間)	

地域の皆さんや保護者に「柳瀬川と地域住民の生活、関わりについて」のアンケートに協力していただき、柳瀬川と黒岩地域の人々の暮らしとのつながりを知りそれを集計することにより、柳瀬川と人々の関わりへ視点が向くようにし調べる課題を決定するようにする。

柳瀬川の水質について、川の中に住む生き物(指標生物)を調べ水質調査を行う。あわせて、パックテストを用いての化学的な水質調査も行い、比較して柳瀬川の水質について調べる。柳瀬川本流だけではなく、学校水田「黒岩ランド」の用水路に注ぎ込む支流など、支流何か所も調べ比較し、水質の状態について調べる。水がきれいな場合は、保全していくようにまた、汚れている場合は、水の汚れを改善するためにはどうしたらよいのかを自ら考えるようにする。

夏休みの期間を使って柳瀬川を題材とした自由研究を行うようにする。
また、川に関する体験活動も計画し参加させるようにする。

黒岩地域には、「黒岩」の地域名の由来となった、黒い巨岩が田の真ん中に鎮座している。この岩は、「安政の大地震時、山を転げ落ちてきた。」という説や「高知市の土佐神社から放り投げられたものである。」など逸話のある岩である。また、黒岩小学校の裏山には、城跡が残っている。戦国時代に長曾我部氏がこの地を統治している。田は、検地が行われ、その検地帳は現存している。その頃には、現在の佐川町よりも発展していたといわれる地域である。また、町が発展するには、物流が必要となるが、その物流が柳瀬川を使って行われていたのではないかと思われる海運の痕跡も残されている。これら、黒岩地域に残る、さまざまな史跡を調べることにより、地域の歴史的価値に触れ、黒岩地域の神秘的なすばらしさを感じさせたい。

①1 年間の活動をまとめることができる。
②1 年間の活動を振り返り、新たな課題や継続して取り組む内容を見つけることができる。

【年間の課題を設定する】④
○柳瀬川と地域の関わりに関するアンケートを実施集計し、柳瀬川と地域の人々の昔からの暮らつながりを知る。
○アンケートの集計結果から生活経験や既習事項、教科の内容を考慮して課題を設定する。
【活動課題】
①柳瀬川と環境調査
②柳瀬川と黒岩の歴史
③柳瀬川と防災

【課題設定】
○数十年前の柳瀬川は、水の流れがなく、①泳ぐことのできない川であった。というアンケートの声があった。柳瀬川の汚れについて話し合う。
○自らの課題を設定し解決のための計画を立て学習の見通しをもつ。
＊調査場所については決めておく。

【調査活動】
○指標生物による水質検査をしり、調査場所について指標生物を採集し結果を記録する。
○パックテストによる水質検査を知り、水質調査を数値化し結果を記録する。
○それぞれの水質調査を数値化し調査場所の比較を行う。

【まとめる】
○表やグラフを用いながら、水質調査を行った結果をまとめる。
○結果をもとに考察し柳瀬川の水質マップを作る。
○水質調査の結果をどのように自分たちの生活に返すか話し合う。
○柳瀬川の水質を守る方策を実行する。

【自由研究】
○柳瀬川に関する自由研究の題材を決め、研究計画を立て研究を進めまとめる。
【体験活動】
○柳瀬川川下りの計画を立て川下りを行う。

【課題設定】
○黒岩地域に残る史跡についてゲストティーチャーからお話を聞く。
○興味関心をもった史跡について話し合う。
○自ら課題を設定し解決のための計画を立て学習の見通しをもつ。
＊課題が重複した場合はグループになってもよい。

【調査活動】
○設定した課題についてゲストティーチャーにアドバイスをもらう。
○フィールドワークの計画を立てる。
○フィールドワークに出かけ調べる。
○図書や資料、インターネットで調べる。
○調べて得た情報を記録する。

【まとめる】
○調べて得た情報や写真を項目立てし整理して模造紙にまとめる。
○まとめたものを元に、パソコンでも資料を作成し学習発表会に備える。
○まとめたものを元に「黒岩歴史新聞」として地域に情報発信する。

【1 年間の活動を振り返りまとめる。】
○柳瀬川の学習を通して学んだことや新たな気付き、これからやってみたいこと等アンケートを実施し集計し、来年度の研究課題の方向性を探る。
【来年度の課題設定】

○柳瀬川アンケートをまとめ、教科の学習や今までの生活体験や既習をふまえて年間を通じて調べる課題を設定することができる。**(課題を見つける力)**
○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。**(豊かに表現する力)**

○教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。
(課題を見つける力)
○課題解決についての計画を考え、活動の見通しをもつことができる。
(問題解決する力)
○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。
(豊かに表現する力)

○目的に合った方法を自ら考えみんなと協力し進んで活動の準備をしたり活動したりすることができる。**(自ら行動する力)**
○目的に向かって見通しをもち進み解決することができる。
(問題解決する力)
○目的にそって進んで取材活動や調べ活動をすることができる。
(情報を活用する力)

○調べたり体験したりしてわかったことを分かりやすくまとめることができる。
(豊かに表現する力)
○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、振り返りをすることができる。
(自己評価する力)

○教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。
(課題を見つける力)
○課題解決についての計画を考え、活動の見通しをもつことができる。
(問題解決する力)
○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。
(豊かに表現する力)

○目的に合った方法を自ら考えみんなと協力し進んで活動の準備をしたり活動したりすることができる。
(自ら行動する力)
○目的に向かって見通しをもち進み解決することができる。
(問題解決する力)
○目的にそって進んで取材活動や調べ活動をすることができる。
(情報を活用する力)

○調べたり体験したりしてわかったことを分かりやすくまとめることができる。
(豊かに表現する力)
○まとめたことを工夫し、いろいろな方法で発信することができる。
(豊かに表現する力)
○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、振り返りをすることができる。
(自己評価する力)

②柳瀬川と防災

【課題設定】
○黒岩地域に過去に起こった自然災害について写真を見たりゲストティチャーのお話を聞いたりする。
○黒岩地域の中でどんな場所で自然災害が起こっているかについて話し合う。
○自らの課題を設定し解決のための計画を立て学習の見通しをもつ。
＊通学班のグループで課題を設定する。

【調査活動】
○通学班のグループに分かれ各地域の危険箇所の点検する。
＊ゲストティーチャーとともにフィールドワークする。
○各グループで立てた課題を中心に危険箇所を探し地区マップに記録する。
○各地域の避難場所や自宅からの避難経路を確認記録する。
＊記録は写真や文、絵でする。

【まとめる】
○調べて得た情報や写真を防災マップにまとめ課題解決の方策について話し合う。
＊ゲストティーチャーの助言をもらう。
○各地区でまとめた防災マップを見せながら課題解決に向けての各グループの意見を発表する。
＊ゲストティーチャーから講評をもらう。
○学校へ掲示後、黒岩地区活動交流センターに掲示し、地域の方に見てもらう。

○教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。
(課題を見つける力)
○課題解決についての計画を考え、活動の見通しをもつことができる。
(問題解決する力)
○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる。
(豊かに表現する力)

○目的に合った方法を自ら考えみんなと協力し進んで活動の準備をしたり活動したりすることができる。
(自ら行動する力)
○目的に向かって見通しをもち進み解決することができる。
(問題解決する力)
○目的にそって進んで取材活動や調べ活動をすることができる。
(情報を活用する力)

○調べたり体験したりしてわかったことを分かりやすくまとめることができる。
(豊かに表現する力)
○まとめたことを工夫し、いろいろな方法で発信することができる。
(豊かに表現する力)
○これまでの自分の活動を見つめ直し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、振り返りをすることができる。
(自己評価する力)

○1 年間の活動を振り返りまとめることができる。
（豊かに表現する力）
○1 年間の活動をもとに新たな課題を設定することができる。
（課題を見つける力）
○これまでの自分の活動を見つめ返し、これからの自分の生活に生かせる学習のまとめ、ふり返りをする。
（自己評価する力）

8.成果と課題

○柳瀬川の本流や支流の水質を調べることによりどの地点も水質がきれいで去ることが分かり。豊かな自然に目を向けるきっかけとなった。今後は環境保全に目を向けさせるよう計画したい。
○身近で起こりうる災害に目を向け、防災の意識を高めることができた。
○学習活動の中でまとめた、黒岩の歴史と柳瀬川の関係を歴史新聞にまとめ、地域の活動交流センターに掲示していただいた。地域の皆さんに見ていただけよかったと思う。今後は、佐川町全体に発信していく方策を考えることをひとつの課題とし、考えていきたい。また、計画していたホタル学習ができなかったので、来年度取り組みたいと思う

様式　14

〔学校部門〕　　［柳瀬川と米作り　活動写真②］

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2018-7212-005	学校部門アドバンス	高知県高岡郡佐川町立黒岩小学校

フィールド：黒岩小学校ランチルーム
日　付　：平成３０年１１月２７日（火）
コメント：刈り取ったお米を精米し、食べれるようにしました。「黒岩ランド」で収穫できたお米は、２８６ｋｇでした。この新米を使い、佐川町のヘルスメイトさんにお弁当作りを教えていただきました。アスパラの豚肉巻や卵焼きなどを作りおかずにし、炊き立ての新米とともにお弁当箱にきれいに盛り付けました。新米で作ったお弁当の味は最高でした。

フィールド：黒岩小学校ランチルーム
日　付　：平成３１年1月２２日（火）
コメント：収穫したお米と餅米を使い、日頃お世話になっている地域の人や保護者の皆さんを招待し収穫祭を行いました。開会式をした後、餅つきをするグループと手巻き寿司を作るグループに分かれて活動しました。餅つきは、杵が重くて苦労しましたが、地域の皆さんの声に合わせてお餅をつきました。できたお餅は、みんなで丸めました。あんこ入りのお餅も作りました。手巻き寿司は、キュウリやシーチキン、卵やきを具にして巻きました。上手にできてうれしかったです。できたお餅や手巻き寿司をみんなで食べました。収穫祭には、ランチルームがあふれるほど、たくさんの方に来ていただきました。大成功でした。

注）写真は５～６枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

様式　14

〔学校部門〕　　［柳瀬川と米作り　活動写真①］

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2018-7212 - 005	学校部門アドバンス	高知県高岡郡佐川町立黒岩小学校

フィールド：佐川町立黒岩小学校前庭
日　付　：平成３０年５月２２日（火）
コメント：学校水田「黒岩ランド」に植える稲の苗を育てるために、籾まきをしました。子ども会の保護者の皆さんが籾まきの仕方を教えてくれました。

フィールド：佐川町黒原黒岩小学校学校水田「黒岩ランド」
日　付　：平成３０年６月７日（木）
コメント：育てた稲の苗を学校水田「黒岩ランド」に植えました。子ども会の保護者の皆さんに田植えのやり方を教えてもらった後、田にひもで目印となる、線を引いてもらいその上に苗を植えました。田植え機も操作しました。

フィールド：佐川町黒原黒岩小学校学校水田「黒岩ランド」
日　付　：平成３０年１０月１６日（火）
コメント：育てた米が刈り取りの時期を迎えました。子ども会の皆さんに稲刈に使う鎌の使いかたを教えてもらい、稲刈りをしました。稲刈りの機械であるコンバインにも乗せてもらい稲刈り体験をしました。

注）写真は５～６枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

別紙資料（２）　指導案　１８/２４

総合的な学習の時間　学習指導案

１　日時　　平成３０年　　１２月１１日（火）　５校時

２　学年　　４年　１組　　６名

３　場所　　４年教室

４　単元名　「河川災害から身を守るには　～もし柳瀬川がはんらんしたら～」

５　単元の目標

・河川水害の危険性を知り、身の守り方を話し合い、備えとして自分が今からできることを考え実践することができる。

６　本時の展開

（１）　本時の目標

・河川災害の危険性を知り、身の守り方を話し合い、備えとして自分が今からできることを考え実践することができる。

（２）　学習の展開

学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点・支援	評価（方法）
１．河川災害が身近に起こっていることを知る。	○高知県や愛媛県の河川災害を見せ、自分が住んでいる地区にも河川災害が起こる可能性を想起させる。 ○黒岩地域の過去の柳瀬川のはんらんによる河川災害について調べたことを発表させ、地域の特性に基づく河川災害の危険性を意識させる。 ○河川災害の写真や映像を見せ実際の水害のイメージを持たせる。	
２．課題を確認する	河川災害について知り、自分の身を守る方法を考えよう。	
３．河川災害の危険と発生する状況について知る。	○河川災害について知らせる。 ・視覚教材や防災マップで河川災害を知り、河川災害が起こりやすい時や場所、災害時の避難場所を確認する。	
○河川災害の前兆について想起する。 「土手がくずれたよ。堤防にひびがはいったよ。水が堤防を越えそうだ。水が急に減り始めたよ。」	○河川災害の前兆について河川管理者の越知土木事務所方の話等から想起させる。	
○身の守り方を考える。 「気象情報に注意しよう。避難に関する情報や呼びかけに注意しよう。危険個所に近づかないようにしよう。早めに避難しよう。前兆に気づいたら知らせよう。」	○前兆現象のイラストを提示し知らせる。 ○イラストを提示し、身の守り方を具体的に考えさせる。 ○避難場所に避難することが難しい時は、家の２階で過ごすことも有効であることをつたえる。	◎得た情報を基に考察し問題解決に向かうことができる。 【問題解決する力】
４．河川災害から身を守る方法を話し合う。	○グループ（地域別）で話合わせ意見が出やすくする。 ○ゲストティーチャーとしてか各地区の自治会長さんに入っていただき助言をしていただく。	
５．いざという時に、河川災害から身を守れるよう自分が今からしておくことを考え発表し合う。 「危険個所と避難場所を家族で確かめよう。」 「注意することを地域の人に教えてもらおう。」 「河川災害の前兆について家族で確認しよう。」 「避難がすぐできるよう、非常持ち出し袋を準備しよう。」	○今から自分でできる普段の備えについて考えさせる。	
６．今日の学習の振り返りをする。 ○振り返りカードを書く。	○ゲストティーチャーから講評してもらう。 ○今日の学習を振り返りこれからの自分の生活に生かせるまとめをさせる。	

別紙資料（３）　指導案　１９/２４

総合的な学習の時間　学習指導案

１　日時　　平成３１年　　１月１５日（火）　５校時

２　学年　　４年　１組　　６名

３　場所　　４年教室

４　単元名　「土砂災害から身を守るには　～もし裏山がくずれたら～」

５　単元の目標

・土砂災害の危険性を知り、身の守り方を話し合い、備えとして自分が今からできることを考え実践することができる。

６　本時の展開

（３）　本時の目標

・土砂災害の危険性を知り、避難のしかたを考えることにより、身の守り方の備えを考えることができる。

（４）　学習の展開

学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点・支援	評価（方法）
１．土砂災害が身近に起こっていることを知る。	○高知県や広島県の土砂災害を見せ、自分が住んでいる地区にも土砂災害が起こる可能性を想起させる。 ○黒岩地域の過去の大水や地震による土砂災害について調べたことを発表させ、地域の特性に基づく土砂災害の危険性を意識させる。 ○土砂災害の写真や映像を見せ実際の災害のイメージを持たせる。	
２．課題を確認する		
土砂災害について知り、避難のしかたを考えよう。		
３．土砂災害の危険と発生する状況について知る。	○土砂災害について知らせる。 ・視覚教材や防災マップで土砂災害を知り、土砂災害が起こりやすい時や場所、災害時の避難場所を確認する。	
○土砂災害の前兆について想起する。 「小石が落ちてきたよ。斜面がひび割れているよ。沢の水が濁っているよ。山鳴りがするよ。等」	○土砂災害の前兆について管理者の越知土木事務所方の話等から想起させる。	
○身の守り方を考える。 「気象情報に注意しよう。避難に関する情報や呼びかけに注意しよう。危険個所に近づかないようにしよう。早めに避難しよう。前兆に気づいたら知らせよう。」	○前兆現象のイラストを提示し知らせる。 ○イラストを提示し、身の守り方を具体的に考えさせる。 ○避難場所に避難することが難しい時は、家の２階で過ごすことも有効であることをつたえる。	◎得た情報を基に考察し問題解決に向かうことができる。 【問題解決する力】
４．土砂災害から身を守る方法を話し合う。	○グループ（地域別）で話合わせ意見が出やすくする。 ○ゲストティーチャーとしてか各地区の自治会長さんに入っていただき助言をしていただく。	
５．いざという時に、土砂災害から身を守れるよう自分が今からしておくことを考え発表し合う。 「危険個所と避難場所を家族で確かめよう。」 「注意することを地域の人に教えてもらおう。」 「土砂災害の前兆について家族で確認しよう。」 「避難がすぐできるよう、非常持ち出し袋を準備しよう。」	○今から自分でできる普段の備えについて考えさせる。	
６．今日の学習の振り返りをする。 ○振り返りカードを書く。	○ゲストティーチャーから講評してもらう。 ○今日の学習を振り返りこれからの自分の生活に生かせるまとめをさせる。	

【授業の様子】

土砂災害について知り、ひなんのしかたを考えよう
大雨
地しん
戸がかたむく
川の水がへる
だんさ
わき水
きれつ
音
におい
水がにごる
落石
身を守るには
きけんな所でひなん場所マップ
前ぶれ
ひなん
じょうほう
へやのいどう
2かいへ
ふだんのそなえ
・おうちの人とひなん場所を話し合う。
・家具をとめておく。
・体けんした人の話をきいておく。
・きけんな所をたしかめておく。
・ひなんマップを作って見やすいところにおく。

別紙資料（１）

指導案　１０/２４

総合的な学習の時間　学習指導案

１　日時　　平成３０年　７月１１日（火）　５校時

２　学年　　４年生６名　５年生３名　６年生１２名　計２１名

３　場所　　多目的教室

４　単元名　「土砂災害から身を守ろう～防災マップづくり～」

５　単元の目標

・土砂災害の危険性をつかみ、身の守り方を話し合い、備えとして自分が今からできることを考え実践することができる。

６　本時の展開

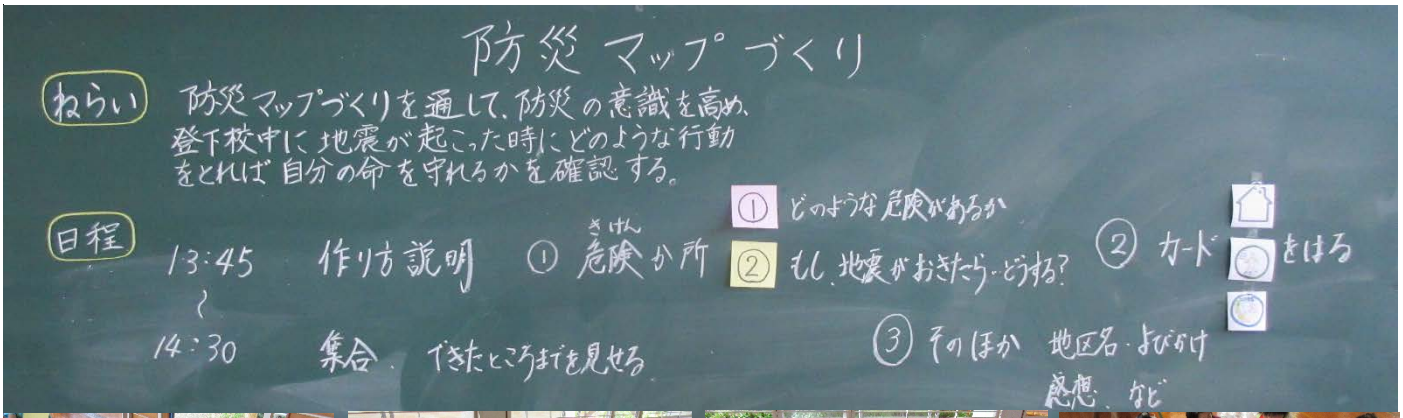
（５）　本時の目標

・土砂災害について知り、防災マップづくりを通して、自分の命を守るための備えについて考えることができる。

（６）　学習の展開

学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点・支援	評価（方法）
１．これまでの防災学習や活動を思い出す。 ○地震の後の２次被害について確認する。 ２．課題を確認する	○防災学習を想起させる。 ・地震後の２次災害について想起させる。 ・大雨の後の被害ではなく、地震の揺れによる被害であることを確認する。	
土砂災害について知り、防災マップをつくり、自分の命を守るための備えをしよう。		
３．【備えちょき④】を視聴し土砂災害について知る。 ○山津波（土石流）は・・・・ ＊大量の水とともに土砂や岩石が谷を流れることだよ。 ○土砂（崖）崩れは・・・・ ＊山や崖の斜面や地肌、岩石などが崩れ落ちることだよ。 ○地すべりは・・・・ ＊斜面を土や砂の大量のかたまりがゆっくりと滑り移動することだよ。 ４．土砂災害から身を守る備えを話し合う。 「土砂災害が起こる前ぶれが分かっていると災害を予想することができるんじゃないかな。」 「危険な場所と避難する道が同じだと危ないから避難する道をいくつか用意しておかなければならないね。 「地図を用意し危ない場所にシールを張ってはどうかな。」 「地図に避難する道と避難場所も書き入れるといいね。」 ５．土砂災害からの避難についてまとめる。 ○土砂災害の前兆 「斜面の形が変わっているよ。ひび割れているよ。小石が落ちてきたよ。水がわきでているよ。湧き水が止まったよ。木の折れる音がするよ。山鳴りがするよ。川の水が急に増えたよ。川の水が濁ったよ。川の水が減ったよ。草木や土のにおいがするよ。」等 ○黒岩地区の地図中で、通学路の土砂災害危険個所についてシールをつけて確認する。 ↓ ＊防災マップ作り ６．今日の学習の振り返りをする。 ○振り返りカードを書く。	○土砂災害は、「山津波（土石流）」「土砂（崖）崩れ」「地すべり」の３つであることを知らせる。 ○土砂災害の起こる原因は、地震だけでなく風水害後も起こることを確認する。 ○「防災マップ」づくりの時に、土砂災害が起こりやすい場所や避難しやすい場所などを調べたことを想起させる。また、早めに避難することの大切さも思い出させる。 ○グループ（地域別）で話合わせ意見が出やすくする。 ○ゲストティーチャーとしてか各地区の自治会長さんに入っていただき助言をしていただく。 ○今から自分でできる普段の備えについて考えさせる。 ○「山津波（土石流）」「土砂（崖）崩れ」「地すべり」の前兆についてまとめ、避難方法について確認する。 【土砂災害の前兆まとめ】 ・山の斜面の形が変わっている。 ・崖から小石がパラパラと落ちてくる。 ・家、地面、擁壁、斜面にひび割れが見られる。 ・井戸水や沢、谷の水が濁り始める。 ・斜面や崖から水が急に噴出した。 ・雨が降っているのに川の水が急に減り始めた。 ・川が急に濁り、流木がたくさん流れてきた。 ・枝が折れる音や山全体が唸るような音がする。 ・草木や土の甘酸っぱいにおいがする 【土砂災害の避難方法まとめ】 ・危険地帯を避けるため避難経路を複数用意する。 ・前兆に気づいたら大人に知らせ、すぐに非難する。 【防災マップ】 ・防災マップをつくる。 ・防災マップで危険個所、避難所、避難経路を確認する。 ○ゲストティーチャーから講評してもらう。 ○今日の学習を振り返りこれからの自分の生活に生かせるまとめをさせる。	◎得た情報を基に考察し問題解決に向かうことができる。 【問題解決する力】

【防災マップづくりの様子】



地域の皆様へ

私たち黒岩小学校全校児童は、地域の方々にご協力をしていただき、防災マップ作りに取り組みました。防災マップ作りを通して、私たちがふだん歩いている周りでも多くの危険な場所があることや安全な場所もわかりました。また、私たちの防災意識も高まってきました。

防災マップは地域の方々も、どこに逃げればいいかを一目で分かるように作りました。この防災マップを地域の方々にお配りしますので、ぜひご活用下さい。

様式　17

〔学校部門〕　　［実施箇所位置図］

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2018－7212－005	地域の特性を活かした河川学習の構想	佐川町立黒岩小学校 校長　坂 本　隆 志

助成事業の主な実施箇所

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で実施している場合は、代表的な箇所を２カ所程度記載してください。
※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
（縮尺は 1/50 万～1/100 万程度）

【水質調査活動・・・柳瀬川沈下橋付近】佐川町黒原

【米づくり活動・・・黒岩小学校学校水田『黒岩ランド』付近】佐川町黒原